

本令施行ノ際現ニ特許局職員ノ職ニ在ル者別ニ辭令ヲ發セラレザ  
ルトキハ特許局事務官、特許局理事官及特許局技師ハ技術院參技  
官ニ、特許局屬及特許局技手ハ技術院參技官補ニ同官等及同俸給  
又ハ現ニ受クル俸給額ニ相當スル級俸ヲ以テ任ゼラレタルモノト  
ス  
本令施行ノ際現ニ特許局職員ニシテ休職中ノ者別ニ辭令ヲ發セラ  
レザルトキハ休職ノ儘前項ノ例ニ依リ技術院職員ニ同官等及同俸  
給又ハ現ニ受クル俸給額ニ相當スル級俸ヲ以テ任ゼラレタルモノ  
トス

行政機構整備實施ノ爲ニスル外務省

官制中改正ノ件

右謹テ上奏シ恭シク

聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ付セ

ラレムコトヲ請フ

昭和十八年十月二十一日

内閣總理大臣東條英機

外務省官制中左ノ通改正ス

第二條中「文書翻譯」ノ下ニ「、旅券」ヲ加フ

第三條中「二十人」ヲ「十九人」ニ改ム

第四條中「通商局」ヲ「戰時經濟局」ニ改ム

第七條 戰時經濟局ニ於テハ戰時ニ於ケル對外經濟施策及對外經

濟交渉ニ關スル事務ヲ掌ル

第十二條中「外務事務官專任三十七人」ヲ「外務事務官專任三十

三人」ニ、「外務理事官專任十四人」ヲ「外務理事官專任十二人

ニ改ム

第十五條中「技師專任四人」ヲ「技師專任三人」ニ改ム